

令和 4 年度主要事業について

○ 主要事業の取組状況

(令和 4 年度 実績)

事業名	事業内容
学校支援事業	「GIGA スクール構想」の推進に向け、導入初期の技術的支援や ICT 機器を活用した教育の実務的支援を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ GIGA スクールサポーター業務 事業費：8,738,400 円
中学校施設維持管理事業 中学校大規模改造事業	安全・安心な教育環境を維持するため、老朽化した武道館等の屋根改修工事等の施工及び次年度施工する工事に係る実施設計を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 熊野中学校 武道館屋根改修工事 事業費：12,100,000 円 契約等：令和 4 年 9 月 29 日（株式会社 熊野技建） 令和 5 年 1 月 16 日 完了 ・ 熊野中学校 フェンス改修工事 事業費：880,000 円 契約等：令和 5 年 2 月 17 日（有限会社 竹ノ内土木） 令和 5 年 3 月 10 日 完了 ・ 熊野中学校 西校舎トイレ改修工事に伴う実施設計業務 事業費：2,085,600 円 契約等：令和 4 年 4 月 27 日（株式会社 車田建築設計事務所） 令和 5 年 10 月 18 日 完了 ・ 熊野東中学校 体育館屋根改修工事 事業費：1,254,000 円 契約等：令和 4 年 11 月 30 日（株式会社 熊野技建） 令和 5 年 3 月 22 日 完了 ・ 熊野東中学校 キュービクル改修工事 事業費：770,000 円 契約等：令和 4 年 9 月 13 日（中村電気保管理事務所） 令和 4 年 12 月 13 日 完了
町民会館施設管理事業	地域コミュニティ活動の場となる「熊野町民会館」の適切な管理・運営のため、老朽化した施設・設備の改修工事を実施した。 【令和 4 年度 施設利用状況】 施設利用者 … 35,377 人（R3 年度 35,409 人） <ul style="list-style-type: none"> ・ 町民会館舞台吊物機構改修工事 事業費：3,498,000 円 契約等：令和 4 年 6 月 27 日（三精工事サービス 株式会社） 令和 4 年 9 月 1 日 完了

事業名	事業内容
町民会館施設管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・町民会館講堂特定天井改修工事 事業費：51,590,000 円 契約等：令和 5 年 3 月 8 日（株式会社 熊野技建） 令和 5 年 8 月 31 日 … 令和 5 年度に事業繰越
図書館運営事業	水銀に関する水俣条約の発効による水銀灯製造の中止及び脱炭素化を推進するため、図書館水銀灯の LED 照明化改修工事を実施した。 事業費：1,760,000 円 契約等：令和 4 年 6 月 1 日（株式会社 中電工広島統括支社） 令和 4 年 9 月 22 日 完了
社会体育施設管理事業	スポーツやリクリエーション活動が快適・便利に楽しめる環境の整備及び脱炭素化の推進を図るため、町民グラウンド照明の LED 化改修工事を実施した。 事業費：17,930,000 円 契約等：令和 4 年 4 月 27 日（株式会社 池久保電工社） 令和 4 年 9 月 22 日 完了

（繰越明許費による事業）… 令和 3 年度予算の繰越

事業名	事業内容
小中学校感染症対応事業	「GIGA スクール構想」に基づき、学習用端末を活用し遠隔での授業実施など、緊急時における学習機会の確保に向けた授業支援ソフトを整備するとともに、感染症対策に必要な保健衛生用品等を確保し、学習環境の維持に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援ソフト … 4,278,120 円 ・加湿空気清浄機 … 1,142,240 円 ・消耗品費(保健衛生用品 等) … 2,910,626 円

令和 4 年度基礎学力向上の取組及び生徒指導上の諸課題について

○ 基礎学力の向上について

➤ 熊野町「学びの変革」推進協議会の開催

県教育委員会と連携し主に次の 4 点について協議を行った。

- ・「本質的な問い」による授業改善について
- ・児童生徒の学びのファシリテートについて
- ・デジタル機器の活用について
- ・カリキュラム・マネジメントの充実について

年間 3 回の推進協議会において理論研修や授業研修を行った。

- ・第 1 回 理論研修「本質的な問い」による授業改善について
- ・第 2 回 授業研修【熊野第四小学校 1 学年 体育科】
- ・第 3 回 実践交流・講話

報告 【熊野第三小学校 小学校低学年段階からの学ぶ喜びサポート校事業】

➤ 広島県研究指定事業の採択

2 つの中学校区で広島県の事業採択をそれぞれ受け、町内 6 校全体で研修に取り組んだ。

- ・熊野中学校区（熊野中学校、熊野第一小学校、熊野第三小学校）

『探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業』

小中連携による生活・総合の単元開発と実践

- ・熊野東中学校区（熊野東中学校、熊野第二小学校、熊野第四小学校）

『道徳教育推進拠点地域事業』

学校や地域の実態に応じた道徳教育の推進

(全国学力・学習状況調査)

		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
		国語	算数 数学	国語	算数 数学	国語	算数 数学
小学校	熊野町	74.2	70.2	66.0	68.0	69.0	62.0
	広島県	—	—	66.0	70.0	67.0	64.0
	全 国	—	—	64.7	70.2	65.6	63.2
中学校	熊野町	84.2	60.1	65.0	57.0	68.0	50.0
	広島県	—	—	65.0	57.0	69.0	50.0
	全 国	—	—	64.6	57.2	69.0	51.4

令和 4 年度全国学力・学習状況調査において、熊野町立学校の平均正答率は広島県平均正答率と同程度、もしくは下回った結果となった。調査対象児童生徒が異なり、単純に比較することはできないが、過去の結果と比較すると平均正答率は下がった。

(令和 2 年度全国学力学習状況調査は実施されなかったため、独自に課題に取り組んだもの。)

○ 小中学校生徒指導上の諸課題について

(小学校)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
いじめ	16	10	13
暴力行為	20	20	17
不登校	14	18	19
その他(問題行動)	21	27	15

(中学校)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
いじめ	10	7	7
暴力行為	15	12	16
不登校	43	30	45
その他(問題行動)	48	50	48

令和5年度 施政方針（概要版）

はじめに

昨年を振り返りますと、令和2年から始まった新型コロナウイルス感染症との長い戦いに加え、ロシアのウクライナ侵攻による不安定な国際情勢や、昨年急速に進んだ円安の影響により、光熱費をはじめ、様々な生活必需品や原油の価格が高騰するなど、我が国の社会経済は大きく影響を受けたところであります。

町民の皆様におかれましても、長引くコロナ禍によって厳しい生活を強いられる方がいる現状において、昨今の物価高騰による生活への影響は、実に深刻であると考えております。このような前例のない課題が次々と押し寄せる事態に直面し、本町ではワクチン接種、各種給付金の給付、割引クーポン券の発行など、国の臨時交付金や支援制度を最大限に活用して予算編成を行い、職員が部署を超えて協力するなど、全庁一丸となりスピーディかつ確実に取り組んでまいりました。

新型コロナウイルス感染症につきましては、感染症法上の位置付けが、本年5月8日に2類から5類に移行されることとなり、今月13日からは、マスクの着用についても緩和されるところでございますが、一日も早くコロナ禍前の日常生活に戻るよう今後も必要な対策を講じてまいります。

令和5年度町政運営の基本方針

感染症及び物価高騰への対策は、国の動向を注視しながら、スピード感を持って取り組むとともに、次の2つの施策を重点的に進めてまいります。

1つ目は、「子育て世代に選ばれるまちづくりの推進」です。

先日、日本の令和4年出生数が初めて80万人割れとなったこと、広島県の転出超過が2年連続で都道府県別ワースト1位となったことが発表されました。このような状況の中、第6次熊野町総合計画に掲げた人口ビジョンを達成するために、「こども・子育て施策」としての医療費助成の拡充や、「移住・定住施策」としての子育て世代の住宅取得者に対する交付金の支給など、子育て世代に選ばれるまちづくりを進めてまいります。

2つ目は、「災害に強いまちづくりの推進」です。

平成30年度から令和3年度までに発生した災害復旧につきましては、令和4年度で完了の見込みです。また、令和元年度に策定した熊野町災害復興計画は令和5年度が最終年度となります。皆様の命と暮らしを守るため、引き続き、ハード事業とソフト事業を織り交ぜ、皆様が安心して日々の生活を送ることができるまちづくりを進めてまいります。

令和5年度の主要施策と取り組み

令和5年度の主要施策と取り組みを、総合計画の基本目標に沿って申し上げます。

【基本目標 1 誰もが元気で健やかに暮らせるまち】

子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、誰もが住み慣れた熊野町で、安心して自分らしく暮らし続けることができるよう、取組を進めてまいります。

子育て支援施策におきましては、乳幼児医療費助成制度を、こども医療費助成制度に改め、通院費の助成対象年齢を中学3年生まで拡大し、子育て支援施策の充実を図ります。

また、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備を図るため、妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型相談支援と、出産・育児用品購入等に対する経済的支援を一体的に行ってまいります。

障害者施策におきましては、障害者の地域での自立した生活を支援し、障害者保健福祉事業を効果的に展開するため、取り組むべき施策の方向性を定める「熊野町障害者保健福祉計画」と「第7期障害福祉計画」、「第3期障害児福祉計画」を策定し、障害者のニーズの変化等を踏まえた見直しを行ってまいります。

新型コロナウイルス感染症につきましては、ワクチン接種の特例臨時接種実施期間を1年延長することにより、接種可能な全ての年齢の人を対象として、秋から冬にかけて年1回接種を実施することを基本とし、重症化リスクが高い高齢者等については、春から夏にかけて前倒してさらに1回接種を実施する方針となっています。引き続き、接種体制を確保し、円滑な接種に取り組んでまいります。

【基本目標 2 学ぶ力と豊かな心を育むまち】

「学ぶ力と豊かな心の実現」のための教育施策として、「学び続ける力の育成」、「思いやりの深化」、「学校・地域等の連携強化」を重点目標に取り組んでまいります。学校教育と社会教育を融合させたコミュニティ・スクールの取組を充実させ、「ふるさと熊野」に誇りと愛情をもち、熊野で学んで良かったと思える教育を進めてまいります。

学校教育においては、これから迎える Society5.0 の時代を見据え令和2年度に導入した、一人1台端末の更なる活用を図り、「個別最適な学び」と「協働的な学び」によって、確かな学力を培ってまいります。また、令和5年度から運用開始する校務支援システムを活用して事務の効率化を図ると共に、教職員の働き方改革を進め、児童生徒と向き合える時間の確保を図ります。

社会教育においては、平成30年7月豪雨災害から5年を迎えるにあたり、慰霊・復興を目的として、町民グラウンドで指定管理者の主催による「夏祭り」を開催します。

次に、人権が尊重された社会づくりへの取り組みとして、犯罪により被害を受けた町民を支援するため、相談窓口を設置し、犯罪被害者見舞金を支給するなど犯罪被害者等が受けた被害の軽減及び回復に資するよう取り組んでまいります。

【基本目標3 活力と魅力に満ちた元気なまち】

移住・定住の促進施策を充実させるとともに、本町の文化や人材などの地域資源を有効活用した観光・交流機能の充実を図り、活力と魅力に満ちた元気なまちづくりを進めます。

移住定住促進策として、子育て世代の定住を促進するため、一定要件の住宅取得者に対し交付金を支給する事業を引き続き実施するとともに、県と連携して移住支援金制度を実施し、東京圏からのU i ターン人材を呼び込むことで、人口の維持、地域の活性化を図ってまいります。

また、ふるさと納税において、返礼品の拡充や納税サイトを追加することで、本町の魅力や地域資源をPRし、関係人口の増加やリピーターの定着につなげるとともに、町内事業者の販売促進等を支援してまいります。

観光推進に関する事業では、今後の熊野町の観光振興が地域の住民を中心とした取り組みとなるよう、その基盤づくりに取り組んでまいります。

【基本目標4 安心・安全で快適に暮らせるまち】

災害対策を中心に、皆様が安心して日々の生活を送ることができるまちづくりを進めます。

地域防災力の向上に向けた取り組みといたしましては、住民参加型の研修として継続して実施している「防災・減災まちづくり会議」や児童・生徒などによる防災学習を通して、「自助」の大切さを再認識し、防災サポーターの輪を広げていくとともに、「家庭防災」から「地区防災」へ繋げていくことで、災害に強いまちづくりを推進します。

その他、近年、災害が激甚化・頻発化する中での災害発生予防及び災害拡大防止の取り組みといたしまして、道路、河川、農業用施設等のインフラの強靱化を進めてまいります。

次に、本町の幹線道路である矢野安浦線及び瀬野呉線が進められているバイパス整備事業は、まちの発展と町内の渋滞緩和を図るために必要不可欠な事業であるため、県と連携して早期完成に向けて全力で取り組んでまいります。

町道の新設・改良事業といたしましては、新たに町道萩原線の新設事業を進めてまいります。この路線は、町内のネットワークを構成する重要な路線であるとともに、県道矢野安浦線バイパスと現道との接続道路としての性格も有することから、バイパス事業と一体として進める必要があり、県事業の進捗に合わせて測量等の準備を進めてまいります。

公共交通の維持においては、町民の移動手段を確保するため、バス事業者への運行補助やおでかけ号の運行を引き続いて実施するとともに、熊野町地域公共交通計画を策定します。

次に、下水道事業でございますが、汚水管路の老朽化対策といたしまして、熊野団地内の老朽管を計画的に更新してまいります。

【基本目標5 人と自然が調和する美しいまち】

コンパクトなまちづくりと公共交通ネットワークの形成、生活利便性の維持・向上、安心・安全に暮らせる居住環境の形成、インフラ整備に伴う行政コストの削減等を図り持続可能なまちづくりを推進するため、引き続き立地適正化計画の策定に取り組んでまいります。

筆の里工房の周辺整備につきましては、体験交流施設の令和7年度下半期オープンを目指して、実施設計業務に取り組むとともに、今後の公園整備に向け、公園施設の構造物設計や上下水道設備工事などを実施してまいります。

【基本目標6 自立と協働 みんなで創る持続可能なまち】

DXの推進につきましては、令和3年3月に策定しました「熊野町dX推進計画」に基づき、計画的・継続的に推進しているところでございます。

キャッシュレス決済の導入を含めた行政手続きのオンライン化の充実を図るとともに、役場窓口においても職員がヒアリングしながら申請書の作成や諸証明の発行ができる「書かない窓口」の本格運用を開始いたします。これらの取り組みにより「役場庁舎に行かなくてもよい」、「書かなくてもよい」といった、住民手続きや窓口サービスの向上に努めてまいります。

また、マイナンバーカードの更なる普及啓発をするために、引き続き、新規カード作成や保険証機能追加などの支援を行います。

新年度の予算規模

これらの施策を中心に予算編成を行なった結果、令和5年度の一般会計当初予算の総額は、95億5,643万2千円となり、前年度と比べ3.6%の増となりました。

また、特別会計は3会計の合計で56億6,078万9千円、企業会計は1会計で11億1,184万7千円を計上しております。

終わりに

冒頭に申しあげたとおり、感染症や物価高騰など、前例のない課題が次々と押し寄せる事態に直面しております。

刻一刻と変化する町行政を取り巻く社会の潮流を的確に捉え、それに対応する施策を最小の経費で最大の効果が挙がるよう意識して実施することで、総合計画で定めた将来像である「ひと まち 育む 筆の都 熊野・なんかいい ちよūdいい そう想えるまち」の実現に、全力で取り組んでまいり所存でございますので、議員各位をはじめ、町民の皆様の格別なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。令和5年度の施政方針とさせていただきます。

令和5年度予算及び主要事業について

○ 令和5年度 予算

教育費 … 839,553 千円 (熊野町一般会計予算の約 8.8%、対前年度比△4.6%)

うち教育部予算

費目 (款：教育費)	事業名	予算 (千円)
項) 教育総務費		
目) 教育委員会費	教育委員会活動事業	2,421
目) 事務局費	学校教育一般管理事業	5,036
	学校教育振興事業	18,509
	学校支援事業	60,292
項) 小学校費		
目) 学校管理費	小学校一般管理事業	44,955
	小学校施設維持管理事業	71,158
目) 教育振興費	小学校教育振興事業	39,490
	小学校低学年書道科指導事業	5,221
項) 中学校費		
目) 学校管理費	中学校一般管理事業	41,214
	中学校施設維持管理事業	43,724
	中学校大規模改造事業	9,000
目) 教育振興費	中学校教育振興事業	22,325
項) 学校給食費		
目) 学校給食費	学校給食事業	132,999
項) 社会教育費		
目) 社会教育総務費	社会教育一般事務事業	4,104
	二十歳を祝う会事業	766
	青少年健全育成事業	130
	郷土館管理運営事業	1,434
目) 町民会館費	町民会館施設管理事業	25,222
目) 公民館費	熊野町公民館管理運営事業	6,922
	公民館一般事務事業	2,145
目) 図書館費	図書館運営事業	48,262
目) 防災交流センター費	東防災交流センター管理運営事業	12,364
	西防災交流センター管理運営事業	12,732
項) 保健体育費		
目) 保健体育総務費	社会体育一般事務事業	47,963
目) 体育施設費	社会体育施設管理事業	19,015
		677,403

・その他の「教育費」 文化財保護費 … 3,794 千円 (産業観光課 所管)

人件費 … 158,356 千円 (総務課 所管)

○ 主要事業

(令和5年度 当初予算)

(単位: 千円)

事業名	事業費	事業内容
中学校大規模改造事業 (格技場照明改修工事)	9,000	水銀に関する水俣条約の発効により水銀灯の製造が中止されること及び脱炭素化を図るため、中学校2校の格技場照明の改修工事を実施し、安全・安心な教育環境を維持する。 <ul style="list-style-type: none"> ・熊野中学校 格技場照明改修工事 ・熊野東中学校 格技場照明改修工事

(繰越明許費による事業)

(単位: 千円)

事業名	事業費	事業内容
小中学校感染症対応事業	7,400	新型コロナウイルス感染症の対策として換気対策を講じるとともに、感染症対策に必要な保健衛生用品を確保し、学習環境の維持に努める。
中学校大規模改造事業 (熊野中学校西校舎トイレ改修工事)	44,440	中学校施設の環境改善を図るため、熊野中学校西校舎トイレの洋式化、内装改修(壁、床、トイレブース等)、付随する機械・電気設備の改修工事を実施する。
町民会館施設管理事業 (町民会館講堂特定天井改修工事)	55,000 (51,590)	災害発生時等の避難所としても利用される熊野町民会館講堂の利用者の安全確保を図るため、既存不適格となっている特定天井の改修工事を実施する。